

令和6年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	福祉部高齢福祉課
施設名称	6	東京都台東区立三筋老人福祉館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。
(2)	[所在地] 東京都台東区三筋2-16-4 [規模] 床面積 (㎡) 延638.09 RC造 5階建 (1,2階一部分含む) 茶室、浴室、教養室、囲碁将棋室、娯楽室など
(3)	[委託事業] ことぶき教室 (カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い (ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業 (口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、防災訓練 等 [自主事業] 各種サロン (事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容: ①健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり②囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業 等
(4)	[利用者] 区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日 9時から17時まで
(6)	[人員体制] 4名 (内 訳) 常勤1名、準職員3名 (前年増減) 増減なし

2. 予算決算		R4予算	R4決算	R5予算	R5決算
収入	委託料 (指定管理料)	19,396,000	19,396,000	19,596,000	19,596,000
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入 ()	0	0	0	0
	計	19,396,000	19,396,000	19,596,000	19,596,000
支出	人件費	12,787,000	14,851,487	13,345,000	15,093,336
	光熱水費	2,253,000	2,433,954	2,175,000	2,030,255
	維持管理費 (委託料・賃借料)	1,272,000	1,220,157	1,309,000	1,184,126
	修繕費	464,000	19,690	200,000	390,500
	事業費	0	0	0	0
	その他支出 (保守料等)	2,620,000	2,090,870	2,567,000	2,302,801
	計	19,396,000	20,616,158	19,596,000	21,001,018
収支			-1,220,158		-1,405,018

3. 活動指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
健康づくり (介護予防) 事業実施回数	回	77	39	61	77
ことぶき教室実施回数	回	100	30	100	100

4. 成果指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数	人	11,500	3,539	8,332	11,424
健康づくり (介護予防) 事業、ことぶき教室参加者数	人	1,800	701	1,340	1,796

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
老人福祉センター・館の3施設全体を通しての運営効率化が前回の課題であり、更なる効率化のため配置転換による人材活用を行ったが、人件費単価の変更により単館での収支は赤字となった。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	各種法令の遵守、計画書等の提出は適切になされている。また、施設の運営にあたっては随時区との連絡調整を行っており、新型コロナの影響下における事業運営の在り方、個別事業の実施方法の見直し等について、十分に協議しながら施設の運営に努めた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナの5類移行を受けて、令和5年度は各種教室・サロン事業等の定員制限緩和をさらに進めながらも、衛生面に配慮し感染防止対策を同時に行うことで、利用者の安全を確保できた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	建物・設備の維持管理については必要に応じて専門業者に委託の上、適切に実施されている。また、新型コロナの影響下における継続的なサービス実施のため、施設内及び備品の消毒や定期的な換気なども実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	令和5年度から各種教室・サロン事業の定員制限を緩和し、より多くの方に施設を利用してもらえるよう努めている。また、アンケート調査の結果を踏まえ、随時講座の内容等の見直しを行っている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	人件費と修繕費については決算額が予算額を超過してしまったため、今後はより計画的な施設運営を行っていくことが求められる。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	【所見】 新型コロナ防止対策のため、サロン及び教室は定員制限を設けつつも、定員数の緩和を行い利用者数の向上に努めた。また、令和4年度から実施している台東区芸術文化財団との共同事業も引き続き実施し、サービス向上に取り組んだ。 【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 人件費の決算額が予算額を超過してしまっているほか、修繕費についても予算で見込んでいた以上に支出があり、赤字収支となっている。収支状況の改善のため、必要経費の見直し等を適切に行う必要がある。